

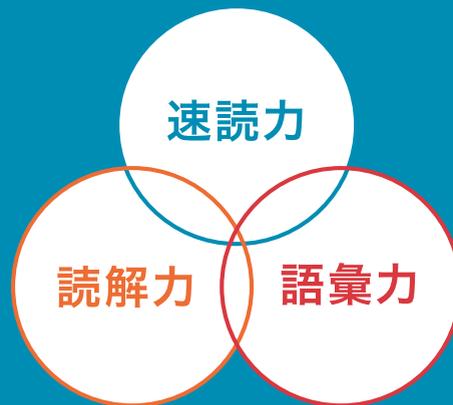


速く正確に読み解く力を鍛える

 **速読解力講座**



これから求められる 言葉の力



日本の教育はいま、入試改革や学習指導要領の改訂を通して、

「読解力」「語彙力」を重視する方向へ変化しています。

「知識がある」というだけではなく、「文章や資料に書かれた情報を横断的に処理し、

速く正確に内容を読み解く力」が求められています。

学校の授業や教材の変化に対応していくために、

子どもたちの基礎能力の向上がさらに大切になってきます。



澤口 俊之先生

脳科学者、脳科学評論家。
元・北海道大学大学院医学研究科・
医学部教授。
専門は認知神経科学、霊長類学。

速読によって様々な脳機能が向上

速読によって色々な脳機能を向上させることができます。注目すべきなのは、ワーキングメモリの速度が上がる、という点です。ワーキングメモリは思考や推論、計画、決断などの多様な高次脳機能の最重要な基礎です。このワーキングメモリが速くなることで、思考や決断も速くなり得ます。速読中の脳の活動をみても、注意やワーキングメモリに深く関わる前頭前野が左右共にととも活性化します。前頭前野はこれらの機能以外にも、勉強や仕事などに重要な諸機能に関わります。速読がそうした前頭前野機能を広範に高めることは明らかです。

速読解力講座

速く正確に読み解く力を鍛える

速読ってだれでもできるの？

速読は脳の働きを活用したトレーニングをバランスよく行うことで、だれにでも習得できる能力です。学習に有効な約3倍の読書スピードを目指します。

速読は読み方が違う

大半の方は通常『頭の中で一文字ずつ音声化する(=黙読)』という読み方で文章を読んでいます。これに対して、速読は『文章をかたまりで瞬間的に視野に入れ同時に内容を理解する(=視読)』という読み方です。

一人ひとりの読書速度に合わせたトレーニングを繰り返すことで、段階的に速読の読み方を身につけていくことが可能です。

読書	速読
音読・黙読	視読
同じように勉強をしているようにも、 <u>成果がある人とそうでない人がいるのはなぜか。</u>	同じように勉強をしているようにも、 <u>成果がある人とそうでない人がいるのはなぜか。</u>

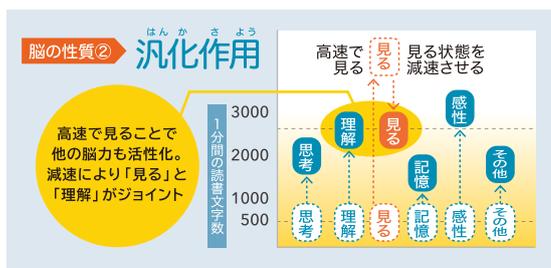
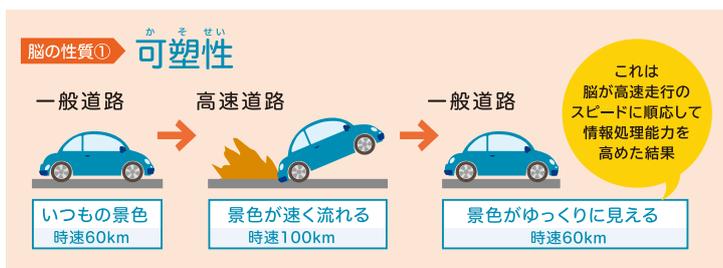


脳の働きを活用した速読法

脳には、外的刺激に順応する(慣れる)性質があります。

速読トレーニングでは、**速いスピードで流れる文字を「見る」**ことを繰り返し、速く読むための擬似環境に継続的に身を置くことで、その能力の定着を図ります。また、トレーニングで**「見る」能力がアップすると、「理解」「記憶」などといった他の能力もそれに追いつくと活性化**します。

速読トレーニングは、「見る」能力を高めつつ、脳の特性を利用し、視読という新しい速読の読み方を定着させていくものです。速度の定着には、**脳の特性である「可塑性」「汎化作用」という特性を活用**しています。



読解力って鍛えられるの？

文章内容を正しく理解するために必要な基礎的な読解力と共に、語彙や要約の力も培っていきます。

「読む」と「読み解く」は大違い

文章をすらすら「読む」ことができたとしても、そこで述べられていることを正しく理解し、内容を把握できているとは限りません。

文章を「読み解く」とは、**言葉の意味や働き、文法などをふまえて、文章の構造を正しくつかみ、内容を理解すること**なのです。

中学生62.1%、高校生35.4%が間違えた！ 読解問題に挑戦！

以下の文を読みなさい。

Alexは男性にも女性にも使われる名前で、女性の名Alexandraの愛称であるが、男性の名Alexanderの愛称でもある。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

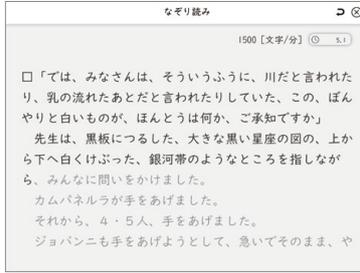
Alexandraの愛称は()である。

- ①Alex ②Alexander ③男性 ④女性

「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」 新井紀子著 東洋経済新報社

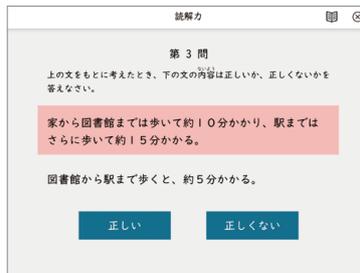
速読カトレーニング

読書速度に合わせて、段階的に読む速度を向上させます
 普段の読み方から固まり読み、移動読み等の速読の読み方へ移行します



読解カトレーニング

文章を読み解くために必要な基礎的読解力を体系的にトレーニングできます
 短文問題や図表の入った長文問題を出題します



基礎的読解力を体系的にトレーニング

STEP 1

文章を読み解くうえで必要な技能を6つに分けて、短い問題文で反復演習することでそれぞれの技能の習得度を確認します。

係り受け	指示語・照応	図表の読解
同義文	推理・推論	定義と具体例

STEP 2

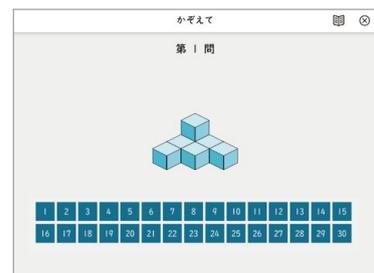
やや長めの文章の内容を読み取る問題を通して、文と文の関係も把握しながら読解トレーニングを繰り返します。

STEP 3

長めの文章だけでなく、図やグラフ、表なども並行して読み進め、複合的に内容を把握する力を養います。

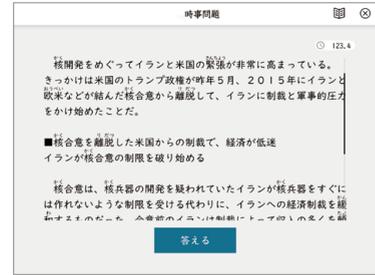
脳カトレーニング

速読に必要な思考力、検索力、短期記憶力、認識力、判断力を鍛えます



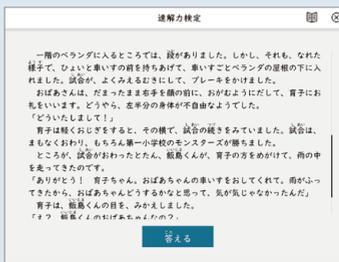
教科トレーニング（語彙、理科、社会、時事問題）

2,800語が学べる語彙問題、中学1～3年の理科・社会問題を一問一答形式で出題します
入試対策にも役立つ時事ニュース記事を読解チェック問題として配信します



成果確認

普段のトレーニングの成績はスキルチャートや数値で確認できます
検定では級・段が認定され、自分自身の成長を実感しながらトレーニングできます



検定では長文・短文の問題に挑戦します。個人成績表で結果を確認し、目標をもって次からのトレーニングに取り組むことができます。
級・段が認定されると認定証書が発行されます。



トレーニングごとの履歴や、全国ランキングも確認できます

楽しく続けられる仕組みがいっぱい

トレーニングに能動的に取り組み、楽しみながら続けられる仕組みとして、達成感を感じる演出や効果音等の「ゲーミフィケーション」の要素を取り入れています。

また、目的に合わせてメニュー画面を変更できます。



監修 岸本好弘氏
一般社団法人
日本ゲーミフィケーション協会
代表理事



自分のアバターが
つくれる

トレーニングで
図書館がどんどん
広がる?!

トレーニングを
ナビゲート

読書速度に
あわせて
自動展開

トレーニングの
成果を確認
友だちと
競い合おう!

全国の受講生に聞きました

受講生の声

受講1年後 回答数23,640人(2019年11月時点)

読むスピードに変化はありましたか



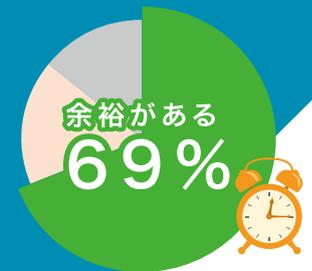
記憶力に変化はありましたか



集中力に変化はありましたか



テストの時間は足りていますか



**速読の授業が
毎回楽しみ**

小学3年生 O.Aさん

今まで難しいと思っていた話の長い本を楽しくかたんに読めるようになったのが役に立ったことです。これからも、速読を活かして色々な本を読んでいきたいです。そして、速読の授業を毎回楽しみにしているし、これからも速読を続けていきたいと思っています。



**国語の成績が
22点アップ!**

小学5年生 F.Aさん

トレーニングを始めてから国語の成績がグングン上がって、学校でも成績が良くなって嬉しいです! 読書速度は739文字/分から2905文字/分にアップしました。苦手なトレーニングもあるけど、向き合うと、だんだんと得意になっているなど実感できます。



**解く時間の
確保が合格に
つながった**

小学6年生 F.Aさん

速読を受講し始めてから、文章を読む速度が自分でもわかるほど速くなりました。それにより、テスト中だけでなく自習のときも効率よく勉強を進められるようになりました。入試本番でも問題文を速く読むことができ、問題をじっくり考えられたことが合格につながったと思います。



**中学受験で
志望校に
合格できた**

中学1年生 S.Rさん

速読をはじめ前、国語の偏差値が40台になる時もありました。速読をはじめると、少しずつ偏差値があがりはじめ、中学受験1ヶ月前にはクラスで1番の成績を取ることもできました。そのおかげで受験も無事合格することができました。



**読む速度の
悩みが解決!**

中学2年生 K.Kさん

テストのときに問題を読むのが遅かったのがずっと悩みでしたが、1年くらいトレーニングを続けていた頃に見直しの時間がとれるようになってきました。トレーニングでは教室のみんなでがんばるというのが意欲になってます。



**入試や
スポーツで
役立った**

高校3年生 N.Kさん

本を読むのが楽しくなりたいと思い速読を始めました。国語の入試問題で、文章を読むスピードが上がっただけではなく、さくさくと読んでいくだけで内容を理解できるようになりました。

※効果には個人差があります

[問題開発/監修]

一般社団法人 **日本速脳速読協会**
www.sokunousokudoku.net